

アザラシウォッチングの注意案内 Safety : Ice & Helicopter

ヘリコプター搭乗の注意 Near the Helicopter

- ヘリコプターにはスタッフの指示があるまで近づかないで下さい。
- ヘリコプターに近づく時は、必ず機体の前方のパイロットの視界に入る向きから、頭を低くしてかがみこむような姿勢で近づいて下さい。特に機体後部の縦についているローター（回転翼）は危険ですので、機体後部には絶対に近寄らないで下さい。
- ヘリコプターに乗り降りする際に、スキー型の浮水用フローターの上に乗らないで下さい（木板で覆ってある場合は可）。またストックやアイゼンなど先の尖ったものをフローターに近づけないで下さい。
- 座る座席はスタッフが指示しますので、それに従って下さい。座席に着いたらシートベルトを必ず着け、長さをあわせて下さい。到着しても指示があるまでは、シートベルトをはずさないで下さい。まれに氷の状態が悪い時などに、再浮上することがあります。
- 機内と機体周辺は禁煙です。
- ドアはしっかりロックし、到着してもパイロットの指示があるまで開けないで下さい。原則としてドアの開閉はスタッフが行います。
- ヘリコプターから降りたら、機体の前方ななめに頭を低くして進み、ローターの回転する範囲から離れて下さい。
- ヘリコプターのそばに飛ばされそうな物を置かないで下さい。
- 来た時と同じヘリコプターで戻ることになります。機体の特徴を覚えて下さい。

アザラシとの接し方の注意 Near the Seals

- アザラシの成獣は近づく人間に噛付きます、10メートル以内には近づかないで下さい。成獣が襲って来た時はすぐに立ち上がって、数歩後ろに下がって下さい。通常はそれ以上追って来ません。
- アザラシの赤ちゃんを持ち上げて別の場所に移動することは禁止されています。
- 赤ちゃんとお母さんをはぐれさせないで下さい。赤ちゃんのもとにしようとする母親をおどかさないで下さい。
- 人間に興奮した赤ちゃんアザラシは、鋭い爪でひっかいたり、噛みつこうとします。このような時は触ったりしないで下さい。
- 尚、分らないことはスタッフにお尋ね下さい。

流氷上の行動への注意 On the Ice

- 氷の上では複数で行動し、必ずガイドの目と声の届く範囲にいて下さい。ガイドは特別なジャケットを着ています。
- 水が出ている氷や、黒ずんで見える氷、および氷の端は薄いので乗らないで下さい。
- 不安な箇所はストックで突いて確認しながら進んで下さい。ストックは氷の上では必ず手にもっていて下さい。
- 海が見えている氷の割れ目は飛び越えないで下さい。氷は絶えず動いているので、ほんの小さな割れ目もすぐに大きく広がってしまいます。また大きな氷の盛り上がりや、氷に大きなひびの入った箇所もガイドの案内がない時は越えないで下さい。
- めったにありませんが、万が一氷が割れて海に落ちた場合は、けっしてあわてないで下さい。ムスタングスーツは浮力が強く、通常胸から上は水につかることなく浮きます。水の入り口も少なく、足以外はあまり濡れないですみます。落ち着いて氷の上に上がって下さい。そして、ヘリコプターに戻って、濡れたものを脱ぎ替えて下さい。簡単な着替え（靴下、ビニール袋二つ）を用意していて下さい。

理由のいかんにかかわらず、スタッフやパイロットが合図したらすぐに戻って下さい。宜しくお願いいたします。